



# 陽子の道政だより

# 62

2015年 初春号

発行 平出陽子後援会

連絡先／函館市中島町2-8  
北教組函館支部内  
(☎33-5080)

## 謹賀新年



### 安倍政権の暴走をくい止める

— 未来へつながる今をつくるために —

北海道議会議員 平出陽子

新年明けましておめでとうございます。

昨年十二月の衆議院議員選挙で自・公の圧勝により三たび安倍政権が誕生しました。

獲得議員数は七十五名になつたとはいえ、投票数は二十四%ですから、今回の結果が民意と言えるのでしょうか。選挙制度による勝利だと私は思います。

前回の勝利の時も、国民は白紙委任した訳ではないのに、安倍政権は「特定秘密保護法制定」「集団的自衛権行使容認」「武器輸出三原則の見直し」等々、これまでの日本の平和主義を搖るがす政策を打ち出しました。

そして今回も自・公による再度の圧勝です。「信を得た」とばかりに、通常国会では安全保障の見直し計画をはじめ、次々と具体的な方針を提案してくるでしょう。それが「戦争への道」に繋がると私は危惧しています。

全国の市町村に中学生・高校生の卒業生名簿入手の問い合わせ、日本学生支援機構（旧育英会）に奨学金返還滞納者名簿の提出を求めて、いうと自衛隊協力民間団体の話まで流れています。働く場がない若者に高額賃金をちらつかせ軍隊入隊を勧誘するアメリカを想起させます。

北海道八区では、私達が支援した「逢坂誠一（やしこん）」の勝利で安倍政権の「戦争への道」「格差社会」「大間原発を始めとする原発政策」の暴走を止めたいと思います。そして私は、地域の声を道議会の場にしつかりと届け、未来へつながる今をつくるための活動をすすめています。



「子供」もの未来に「夢」「希望」「平和」を願うのは当たり前ですが、なぜ今、主張するのですか

# 子どもの未来に [夢] [希望] そして [平和] を！

II 具体的にどんな質問をしたのですか

へ平出▽大沼学園の先生達から  
要請があり伺いました。

大沿学園に義務教育が導入されて五年がたちます。（他県では既に導入されて、この二、三

（内では未実施だったので、私が議会質問した経過あり。）それまでは福祉施設職員が教育していましたが、導入後は教員免許を持つ教員が正式な教育課程で指導してきました。結果

内では未実施だったので、私が議会質問した経過あり。（そ  
までは福祉施設職員が教育して  
いましたが、導入後は教員免許

△平出▽これまで二回しか出していなかった通知を毎年出すことにして、複雑な事情を抱えている子ども達の環境や心情を充

教えていたが、三ヶ月位の間に教えた子でしたが、自分の将来に夢も希望も持てないためか、学習態度や生活態度に問題を抱えていました。

「教科書を再び戦場に送る  
な！」の合い言葉が、現実味を  
帯びてきたのは残念と言えま  
す。これからも平和な社会を持  
続するため活動します。

「高校進学」の障壁になる「高校側」の理解と配慮を求めるのです。

分に理解し、安心して学習できる環境整備をしてほしい旨の文書を送付するとの答弁でした。

そのことが、私の「子どもの未来に夢や希望を!」という政治活動の原点になつてゐると思ひます。

しかし、死念がござり、どうも、  
が低くて不合格になつたのではなく、入所していたことがネックになり不合格になつたと思われる事例がありました。

そこで、高校側に配慮を求める文書あるいは自立支援施設入所の子ども達への理解周知が必要ではないかと訴えました。

Ⅱ 高校進学率が九十八%の時代ですから、入所していた生徒達も進学希望が高くなります。

▲平出▽これまでの日本では、安定した終身雇用という職場がありましたが、雇用のあり方の変化で生活困窮者が増えました。いわゆる格差社会の始まりです。生活保護法で守られる場合はよいのですが、それ以外で困っている人びとが増え続け、もはや新しい仕組を考えなくてはならない日本になつたのです。

○住居確保給付金 (3/4)

○一時生活支援事業 (2/3)

○学習支援事業 (1/2)

などのメニューを含む計画を作成しなければなりません。( )

中の数字は国庫負担の割合です。つまり、国は援助してくれるけれど、全部でないので、残りは各自治体が負担することになります。

ですからどの自治体も、最低

の計画に載せてもらい、財政援助してくれば継続性のある安定した運営はできません。生活困窮者には高齢者・しょうがい者・女性が多く含まれています。若い時の本人の努力不足だと非難する人がいますが、いくら本人が努力しても出来ない場合があるからこの法律が制定されたのです。必要な人に支援が届く事業実施を望みます。

# 今年四月から 「生活困窮者自立支援法」施行 II 各自治体は支援メニューの作成

一九四三年十二月に生活保護法の改正とあわせ成立した「生活困窮者自立支援法」ですが、どのような経過があつて成立したのですか

そこでできたのが、この法律です。しかし主体は各自治体になります。

いますが、行政が重い腰をあげません。直営でなくとも、法人運営でよいのですが、民間も財政的に厳しいです。函館市の計画に載せてもらい、財政援

の相談支援事業は手かけるけれども、宿泊施設整備である一時生活支援事業には難を示しています。

輝きたくても  
輝けない女性に  
こそ支援を！

安倍政権が唱える「女性がいきいきと輝く社会」とはすこし  
異なりますね。

へ平出▽安倍政権の第三の矢として「女性が輝く社会を作るため、二〇二〇年までに女性管理職を三〇%に増やそうとする」成長戦略です。意思決定権を持つ女性を増やすとする考え方で、私はこの政策を完全否定するものではありません。

しかし、すべての女性達が輝ける政策なのか疑問に思いました。男並みに働く女性を増やす、一部の女性エリート養成の政策のようになります。

誰でも輝いて生きたいのですが、輝きたくても輝けない女性が多くいる現状を、政府は正しく認識しているのでしょうか。

Ⅱでは、女性の取りまく現状について、もうすこし詳しく。

へ平出▽働く女性と専業主婦の比率はもはや逆転し、働く女性の方が多くなっています。

しかも働いている女性でも、非正規雇用が七〇～八〇%も占

めいるとされています。ですから高齢になって、年齢も貯金も少ない女性達が多く存在することになります。離婚やDV被害の女性達はもっと生活が厳しくなります。

日本社会の中で最も貧困が高いのは六〇歳以上の高齢層ですが、それは男女合わせてですの

で、女性を特出すると女性の高齢者の貧困率はもっと高くなるのが実態です。

女性達が生きにくくなると、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

Ⅱ今後どのようにすると良いですか。

めいるとされています。ですからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

Ⅱ今後どのようにすると良いですか。

へ平出▽安倍政権が引き続きますからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

全ての女性たちが輝けるように地方から声をあげていきたいと思っています。女性たちが輝ける支援を、盛り込めるように地方から声をあげていきたいと思っています。女性も男性も輝いて生きる社会づくりが重要です。

へ平出▽安倍政権が引き続きますからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

Ⅱ今後どのようにすると良いですか。

へ平出▽安倍政権が引き続きますからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

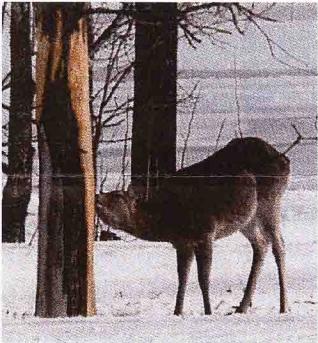
全ての女性たちが輝けるように地方から声をあげていきたいと思っています。女性たちが輝ける支援を、盛り込めるように地方から声をあげたいと思っています。女性も男性も輝いて生きる社会づくりが重要です。

へ平出▽安倍政権が引き続きますからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

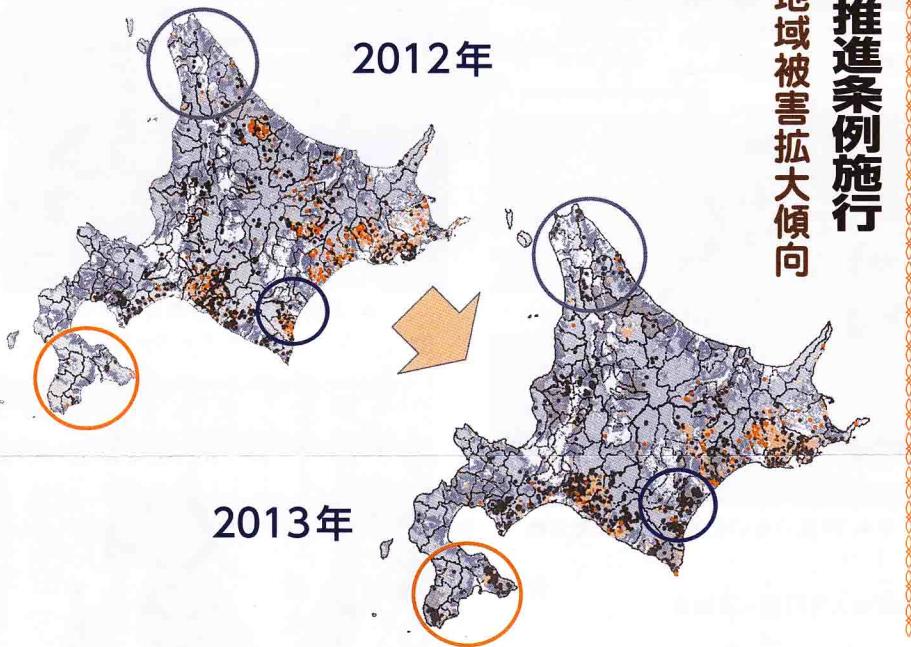
Ⅱ今後どのようにすると良いですか。

へ平出▽安倍政権が引き続きますからこの「女性がいきいきと輝く社会づくり」の具体策、子ども達の生活が苦しくなるのが目に見えます。ですから前頁で「生活困窮者自立支援法」の中の学習支援事業にも結びついてくるのです。

全ての女性たちが輝けるように地方から声をあげたいと思っています。女性も男性も輝いて生きる社会づくりが重要です。



## エゾシカ森林（人口林）被害マップ

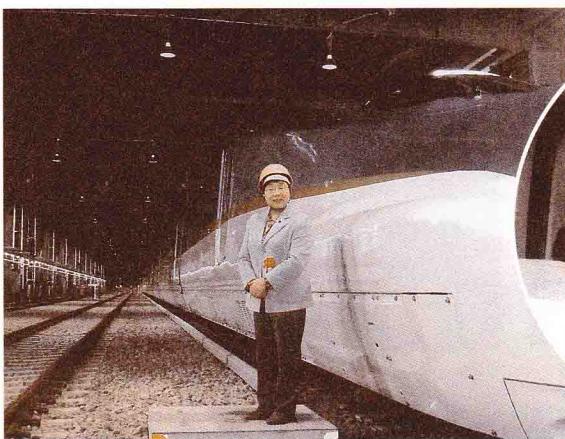


### 第4回定例会で採択された意見書

- 少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善等を求める意見書
- 若者の「使い捨て」が疑われる企業等に対する指導監督等の強化等を求める意見書
- 外形標準課税の中小企業への適用拡大時期等について慎重な判断を求める意見書
- 農業委員会改革に関し慎重な議論を求める意見書
- 私立専修学校に関する新学校種の創設と財源措置に関する意見書
- 将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- 日ロフェリー定期航路の存続支援を求める意見書
- 地域雇用政策に関する施策の充実・強化を求める意見書
- 農協系統組織の自己改革を十分尊重すること等を求める意見書

### 第3回定例会で採択された意見書

- 北海道電力株式会社の電気料金値上げ幅の見直し等に関する意見書
- 土砂災害防止対策の推進に関する意見書
- 東日本大震災からの復旧・復興のための財政支援の継続等を求める意見書
- 魅力ある地方創生へ向けた施策の推進を求める意見書
- 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
- 私学助成制度に係る財政措置の充実強化に関する意見書
- 義務教育未修了者の実態把握と教育環境の整備を求める意見書



▲ 北海道新幹線H5系内覧会（北斗市）



で見る  
陽子の  
道政日記

▲ 北海道女性議員協議会要請行動（札幌市）  
－道総合政策部へ－

▲ 最低賃金の遵守を！街宣活動

▲ 函館市内女性教職員学習会  
(青年センターにて)

▲ 衆議院議員選挙人見町個人演説会



▲ 原発のない北海道を！街宣活動



▲ 当選直後の逢坂衆議

あとがき

新年明けましておめでとうございます。さて、昨年暮れに安倍首相が急遽解散を表明し、行なわれた衆議院議員解散総選挙は与党が改憲発議に必要な3分の2の議席を確保する結果となりました。予想された通り、過去最低の投票率によって選ばれた政権は民意を得たということをもって、原発再稼働をすすめるための財源確保や集団的自衛権行使に向けた関連法案の準備にとりかかるています。戦後、国民を主権者として、民主主義の道を着実に前進させてきた日本の政治は大きく傾きかけています。しかしながら、ここ函館・渡島・檜山管内では、平出陽子と意を同じくする逢坂衆議院議員を多くの市民の手で当選させることができます。市民が地域と生活がより安全に安心して暮らせる政治を選択した結果です。未だに意見表示をしなければなりません。今年の春には統一自治体選挙が行なわれます。今こそ、地域に暮らす私たちの思いを託す政治家をしっかりと議会の場におくることが重要です。後援会として、未来へつながる今をつくるために、平出陽子道議をしっかりと支え、これからも活動を広げてまいります。今後も、応援と協力をお願ひ申し上げます。